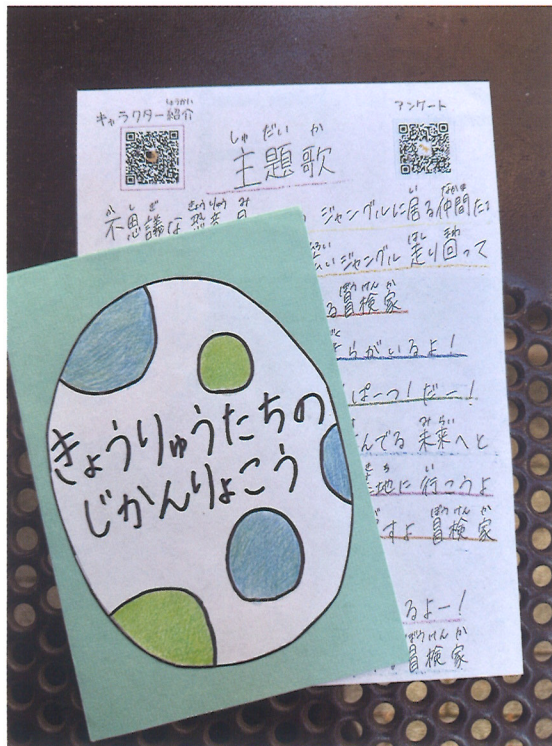


誤：佐野隼人(タイトル)佐野隼斗(リード文)

子ども学科イベント！ まみむめじろ かきくけこども



▲公演の歌詞カード (写真: 櫻井)



▶ 目白大学公式 YouTubeチャンネルから

雄巖 寄稿
(メディア学部3年 櫻井)

大学生活の1年を通して、多くのイベントが主体となつて企画されている。小さい子ども達に、秋に開催される「桐和祭」でも学科ならではの劇を「まみむめじろ」という学祭がある。コロナ禍で4年ぶりのオフライン開催となった2023年5月頃から全体準備は、約6000人が来場した。しかし目白大学にはもうひとつ大きなイベントがあるのをご存知だろうか。それは子ども学科主催の「まみむめじろ かきくけこども」というイベントだ。毎年、こども学科の1年生から3年生の学生が主体となつて行われる舞台で、19年間も続いている子ども学科恒例のイベントである。今回は、2023年12月16日に開催された舞台を実際に観た来場者、同窓生に取材した。内容をお伝えする。

2023年の劇テーマは「まみむめじろ かきくけこども」。これは「まみむめじろ」の「ま」が現代にタイムスリップし、旅の中でくつかのトラブルなどを乗り越え、きょうりゅうたちの絆が深まっていくという内容だ。先にも述べたように、同イベントは企画から演出・歌や踊り、事前に配布された歌詞カードで練習中にキャストと会話をとつたのが、取材した内容をお伝えする。

「まみむめじろ かきくけこども」は、今から約10年前の2013年に開催された。そのころは、こども学科の1年生から3年生の学生が主体となつて行われる舞台で、19年間も続いている子ども学科恒例のイベントである。今回は、2023年12月16日に開催された舞台を実際に観た来場者、同窓生に取材した。内容をお伝えする。



▲公演の様子 (写真: 櫻井)

目白大学新聞 創刊30周年祝50号

1994年5月に創刊された目白大学新聞は、2024年に創刊30周年、そして50号目の節目を迎えた。本号では、過去に目白大学新聞の制作に携わった卒業生から目白大学新聞に関する思い出や新聞制作を通して学んだこと、今後の目白大学新聞に期待していることを伺った。

- ① 目白大学新聞の思い出
- ② 取材活動で学んだこと
- ③ 今後の目白大学新聞に期待すること

田村沙織さん
(旧姓: 久保木)

2014年度卒 2014年2020年印刷会社に勤務、雑誌「L'Officiel」のDTPに従事

「記事を書いて、は、い、終わり。」ではなく、そこに携わった中で学んだことが大変だった思い出は「記事を書く責任」です。当たり前のことを書いていたことが、意外と忘れた。時事ネタもあれば、ぼろ話など内容も十人十色。どの記事も何面しようか、インターネットに持ってくるかなど、たては時として炎上など、起きやすいのだと思いま

「まみむめじろ かきくけこども」は、今から約10年前の2013年に開催された。そのころは、こども学科の1年生から3年生の学生が主体となつて行われる舞台で、19年間も続いている子ども学科恒例のイベントである。今回は、2023年12月16日に開催された舞台を実際に観た来場者、同窓生に取材した。内容をお伝えする。

額川佳奈さん
(2017年度卒 株式会社日立ビルシステムに勤務)

「まみむめじろ かきくけこども」は、今から約10年前の2013年に開催された。そのころは、こども学科の1年生から3年生の学生が主体となつて行われる舞台で、19年間も続いている子ども学科恒例のイベントである。今回は、2023年12月16日に開催された舞台を実際に観た来場者、同窓生に取材した。内容をお伝えする。

「まみむめじろ かきくけこども」は、今から約10年前の2013年に開催された。そのころは、こども学科の1年生から3年生の学生が主体となつて行われる舞台で、19年間も続いている子ども学科恒例のイベントである。今回は、2023年12月16日に開催された舞台を実際に観た来場者、同窓生に取材した。内容をお伝えする。

Cooking Essay

ふわ井

嬉しいことがあったから美味しいものを食べよう、イライラするからたくさん食べちゃおう、悲しいことがあったから食べて忘れよう、みんなで持ち寄って楽しくパーティーしよう。喜怒哀楽、私たち人間の感情にいつも寄り添ってくれるのは、「食」だろう。思い出と共にあるのも「食」だ。だと、どこで、どんな話を、何をして、何をしていたか、エピソードが出てくる料理があるのではないだろうか。

今回紹介するのは、「ふわ井」。他の料理名をつけるならば、「くずし豆腐とそばのあんかけ井」。私は家族以外で「ふわ井」と呼ぶ人をみたことがない。なぜ家族がそれを「ふわ井」と呼ぶのかはわからないが、ずっと前からそうなのだ。はじめに作り始めたのは父方の祖母で、簡単だからという理由で私の母もよく作っていた。

私のきょうだいは、あまりこの料理が好きではなかったみたいだが、幼い頃かなりの偏食だった私は、何杯もおかわりするほど大好きだった。どのくらい偏食だったかというと、最近祖母に「なぜ21年間大きな病気もなく生きているのか不思議」と言われるくらいだ。小学2年生の時に学校で食の授業があり、野菜を育てている人、給食を作っている人たちの思いを聞いてから、途端に野菜を食べ始めたそう。生まれてから食べてこなかったものを急に食べ始めて体がびっくりしたのか、体調不良になって病院で点滴をした。野菜を食べ始めたことと関係はないだろうが、同じ時期に小児喘息にもかかった。

今は祖母とも母とも離れて暮らしているが、時々この料理を自分作って、当時の思い出を懐かしさにひたす。(編集部3年 黒木茉莉愛)

ふわ井の作り方

【材料 (1~2人前)】

豚ひき肉 100g
木綿豆腐 200g
すりおろし生姜 お好みの量
すりおろしニンニク お好みの量
ごま油 適量
小ねぎ 適量
水 適量
合わせ調味料: しょうゆ、みりん (小さじ2ずつ)
鶏ガラスープの素

⑤白米の上にかけて小ねぎをのせて

- ① 熱したフライパンに、すりおろした生姜とニンニクを入れて炒める
- ② ニンニクの香りが立ったら、豚ひき肉を入れて、色が変わるまで炒める
- ③ 豚ひき肉に火が通ったら、木綿豆腐を入れて、軽く崩しながら炒める
- ④ 全体に油が回ったら、水と合わせ調味料を混ぜて加熱する (お好みで味の調整)



(イラスト: 黒木)

目白大学新聞

「学生文化の創造を」
盛大な入学式、高橋学長が告示

羽ばたくフレッシュマン

山崎友利花さん
白大学新聞として形になることが何よりも嬉しく、いい経験でした。

白大学新聞として形になることが何よりも嬉しく、いい経験でした。

▲目白大学新聞 初号

学生インタビュー

手話サークル 新時代到来

2023年度秋学期から本格的に活動を再開した手話サークルオレンジは、役員のすべてを1年生(2023年度当時)が務めている。サークルの会長である人間福祉学科1年(当時)の平田琉大さんと、副会長の八木田佳那子さんに活動内容や今後の展望を聞いた。

手話サークルオレンジイベントを開いたり、学たと思ってもらえれば、には現在(2023年)んだ手話をアウトプットなおいですね。」と話。度当時)28名が所属する場を作る予定だとい八木田さんは「副会長としており、入部を検討中のう。その他、他大学の手して会長をサポートしつ学生を含めて30人を超す話サークルとの交流など、つ、サークルの活動規模見込みだ。所属学生の多やりたいことは尽きない。をどんどん大きくして、くは人間福祉学科の学生 難しいと思われがちなのリラックスして手話を学で、顧問も同学科の先生 手話だが、手話サークルべる環境作りをしていきなのだという。 オレンジでは、誰がいつ活たいです。」と笑顔で答えた。2023年度の秋学期に参加して大丈夫。手話サークルオレンジの今後の活動に注目だ。

期まで正式な活動がでな内容にしているという。手話サークルオレンジのな状態にあり、止ままた二人は、目白大学でいた活動を再開させよの学生生活において学部(編集部3年 黒木茉愛うと動いたのが、手話サー外つながりが少ないとクルに興味を持っていた感じていた。「手話に興味1年生だ。平田さんは同がある人はもちろん、学学科の先輩からサークル部や学年を超えたつながの話の聞き、八木田さんが欲しい人も大歓迎でや他の学生を誘って人数す。1年生から4年生までを集めた。役員を1年で、幅広い申し込みをお生が務めていることについて待ちしています。」と八木て、平田さんは「先輩方田さんは話。と比べると時間に余裕が これからどのようなあることや、連絡の取りサークルにやすさなどから1年生が していき役員を引き受けました。いか訊ねる結果、より風通しの良いと、会長のサークルになるのではない 平田さんはかと思っています。」と前向き「手話を第二言語としてに考えている。

これまでの活動内容は、て、みんな週に1〜2回集まって手が楽しんで話を学ぶだけであつたが、学べるサーこれからはサークル内やクル作りを大学内に広げたい、活していきたい動の幅を広げていきたいです。そと二人は語る。学外のボして、目白ランテアに参加したり、大学に入学季節ごとに手話を絡めたしてよかつ

これからの活動内容は、て、みんな週に1〜2回集まって手が楽しんで話を学ぶだけであつたが、学べるサーこれからはサークル内やクル作りを大学内に広げたい、活していきたい動の幅を広げていきたいです。そと二人は語る。学外のボして、目白ランテアに参加したり、大学に入学季節ごとに手話を絡めたしてよかつ



▲オレンジの手話をする平田さん(左)と八木田さん(右)(写真:黒木)



▲手話サークルオレンジのInstagramはこちらから

学生インタビュー

学生団体 メジ☆スタとは?

「私たちの基本的な活動は、4〜9月に開催されるオープンキャンパスの運営補助です。受験生がはしたのですが返信がなく、返信があったメジ☆スタはとても好印象でインスパアを行っていました。大学SNSのフォロ促進のために大学のロゴが入ったグッズを配布したり、最近では秋に行われる学園祭でもメジトークを実施したりしています。

メジ☆スタ内の活動でいうと、新学期に行う団結式や年度末に行う解散式やイベント主催のイタには総リダーを筆頭ベントがあります。他のに、総副リダー、OC団体と比べると活動回数班、CT(キャンパスツアー)は少ないですが、活動日班、イベント班それぞれ

「私たちがの学年で1年生から続けていた人が少なかったのもありますが、前の総リダーに推薦してもらって総リダーになりました。メジ☆スタには総リダーを筆頭ベントがあります。他のに、総副リダー、OC団体と比べると活動回数班、CT(キャンパスツアー)は少ないですが、活動日班、イベント班それぞれ

「私たちは受験生をサポートするために活動したとおり、オープンキャンパスに来た受験生がア活動しているの、他学ンケートに嬉しいことを科他学年の人たちと長い書いてくれた時が、一番や時間一緒にいて確実に仲りがいを感じますね。そ良くなることができます。それを踏まえてメジ☆スタ縦や横の繋がりがほしいメンバーが楽しいと思っ人は参加を検討してみたり、自身の成長を感じてください。また、コミュニケーションが好きな人はもちろん、苦手な人は活とSNSのフォローワーが動をとおして成長できる増えた時など、メジ☆スタのでぜひ参加してほしいタの活動の成果が見えたです!」

「私は1年生の時から参加していました。入学した頃はちょうどコロナ禍で、活動しているサークルや団体が明確に分からなかったのですが、大学に入ってからにはいろいろな人と関わりたという思いが強くあり、参加を決めました。他のサークルにも活動の問い合わせはしたのですが返信がなく、返信があったメジ☆スタはとても好印象でインスパアを行っていました。大学SNSのフォロ促進のために大学のロゴが入ったグッズを配布したり、最近では秋に行われる学園祭でもメジトークを実施したりしています。

「私たちは受験生をサポートするために活動したとおり、オープンキャンパスに来た受験生がア活動しているの、他学ンケートに嬉しいことを科他学年の人たちと長い書いてくれた時が、一番や時間一緒にいて確実に仲りがいを感じますね。そ良くなることができます。それを踏まえてメジ☆スタ縦や横の繋がりがほしいメンバーが楽しいと思っ人は参加を検討してみたり、自身の成長を感じてください。また、コミュニケーションが好きな人はもちろん、苦手な人は活とSNSのフォローワーが動をとおして成長できる増えた時など、メジ☆スタのでぜひ参加してほしいタの活動の成果が見えたです!」



▲篠原さん(写真:黒木)
▲篠原さんと2024年度総リダーのいちかさん(写真:黒木)



▲解散式当日の様子(写真:黒木)

「私たちは受験生をサポートするために活動したとおり、オープンキャンパスに来た受験生がア活動しているの、他学ンケートに嬉しいことを科他学年の人たちと長い書いてくれた時が、一番や時間一緒にいて確実に仲りがいを感じますね。そ良くなることができます。それを踏まえてメジ☆スタ縦や横の繋がりがほしいメンバーが楽しいと思っ人は参加を検討してみたり、自身の成長を感じてください。また、コミュニケーションが好きな人はもちろん、苦手な人は活とSNSのフォローワーが動をとおして成長できる増えた時など、メジ☆スタのでぜひ参加してほしいタの活動の成果が見えたです!」

「私たちは受験生をサポートするために活動したとおり、オープンキャンパスに来た受験生がア活動しているの、他学ンケートに嬉しいことを科他学年の人たちと長い書いてくれた時が、一番や時間一緒にいて確実に仲りがいを感じますね。そ良くなることができます。それを踏まえてメジ☆スタ縦や横の繋がりがほしいメンバーが楽しいと思っ人は参加を検討してみたり、自身の成長を感じてください。また、コミュニケーションが好きな人はもちろん、苦手な人は活とSNSのフォローワーが動をとおして成長できる増えた時など、メジ☆スタのでぜひ参加してほしいタの活動の成果が見えたです!」



▲インタビューに応じた久保さん(写真:青田)

「まず、選ばれるには、大会の前日にパリ日本代表を受けたといティのようなものがださった皆様へメッセージを用意を決めるのですが、あつて、いろんな国の選手をお願いします。それを決めるときに少しと交流をしました。また、悩んでいました。小さいその日に全体でリハサ頃からチアをやつていて、この大会に参して下さっている方のお高校までは日本一を目指加する皆さんのパフォーマンスがで自分たちも満足のしてやっていました。でも、ンスを見ました。どの国いくパフォーマンスをするこの大学を選んだ理由ともレベルが高くて、さすがにできなかった。なので、競技の成績を求めが世界大会だと思いま応援してくださる方がいるというよりは、競技した。その時、私たちもらつしやると、すごく嬉と向き合いたいという気「がんばれ!」と応援ししいです、がんばろうっ持ちがあつたので、さら合っていました。そこで印て気持ちになります。本に上を目指すがどうか悩象に残っているのが、海当にありがとうございまんでいたんです。けれど、外のチームの応援のリズした。」

日本代表に決まったときムの取り方です。その応(編集部3年 青田夏希は、自分が憧れていた大援の仕方が自分たちのや学で世界大会に出場できり方とは違つていて、「絶

「チアリーディング部QUAKES(クエイクス)に所属している久保里歩さんが、昨年11月23日、25日、26日に日本で開催された「第11回チアリーディング世界選手権大会」の選抜日本代表ナショナルチームメンバーの人として出場しました。

「チアリーディング部というのがとても嬉し対にリズム取りにくいので世界選手権大会」の日本かつたです。」

代表に選抜されたことへのお気持ちをお聞かせく

「世界大会はどのような援を聞いていてとても面白いなと思いました。」

「最後に、応援してく

学生インタビュー

チアで夢の 世界大会へ!



▲所属アイドル Love♡Cherish のライブ（写真：BELL AGENCY 提供）

私はゼミ雑誌であるMen2号で、アイドルの世界についての雑誌記事執筆しました。実はBELLAGENCY（ベルージェンシー）という会社で、主にアイドル運営スタッフとして現場に参加しています。会社のアイドルプロデュース事業では3つのアイドルグループをプロデュースしていて、それぞれの決まったコンセプトを基に客席を巻き込み熱く盛り上げるステージや、やわらかく包み込む爽やかなステージをお届けしています。記事の内容は社長インタビュー、グッズ制作を担当しているアイドルプロデューサーへのインタビュー、実際に経験したライブの様子についてをまとめた内容になっています。

社長インタビューではBELLAGENCYの社長の蔵屋敷英樹さんに現在に至るまでの苦悩と現在にやるべきことについて話を聞きました。

Q&AではWEBフライヤーからCDジャケットなどほとんどのグッズ制作に携わっているアイドルの方々に話を聞きました。

Q&AではWEBフライヤーからCDジャケットなどほとんどのグッズ制作に携わっているアイドルの方々に話を聞きました。

アイドルの世界を覗く



LoveCherish

結成日：2022年4月16日

愛を大切に、愛でフロアを沸かせ、愛をお届けする気持ちを込めて命名された「LoveCherish」。王道×元氣系をテーマにパワフルで楽しいライブにすることがモットー。



ソラネルカンパニー

結成日：2020 年 9 月 4 日

会社組織（カンパニー）をコンセプトに活動している。王道×清楚をテーマに社長や企画課などメンバー、一人一人に役職がついている。



COLOR'z

結成日：2018年2月25日

カラーギャングアイドルをコンセプトに活動している。王道×ロックをテーマに客席を巻き込む楽曲で会場の雰囲気をも熱く盛り上げる。

作に必要なスキルであると感じました。

ワンマンライブや生誕祭の様子については、私自身がスタッフの員としてライブを成功させるためにイベントを創りあげた経験についてまとめました。ステージ裏側の実際の様子や当日の会場の様子などスタッフとして関わることで知ることができた経験や考え方が多くあったと思います。特に、ワンマンライブではメンバー早着替えの手伝いやグッズ販売、特典

会など日中動き回らなければいけないので、ライブ終了後は疲れと共にメンバーと同じように達成感を感じることができません。ライブとは、映像や音響など多くの人の協力とステージに立つアイドルの努力、そして何より会場に来てくれるお客さんがいるからこそ成り立っているのだと数々の現場を通して学ぶことができました。

間茴音 寄稿

（メディア学部3年 佐久

キャリアセンターを
有効活用しよう

キャリアセンターを度でも活用したことがあるだろうか。活用した人は少ないだろう。なぜなら、就活の使用頻度が多いからだ。1・2年生は一度もキャリアセンターに入ったことがないという人が多数なのではないか。

キャリアセンターとは、キャリアセンターの出番の運営や、外部会場での合同説明会などを開催している就活支援企業と学生のための就活支援である。キャリアセンターサービスのことを指す。では、就活の先輩たちが、学生が今後のキャリアに向けて円滑に進められるように、キャリアセンターが支援し、正確で豊富なアドバイスを学生に提供している。基本的にどの大学にも設置されている。

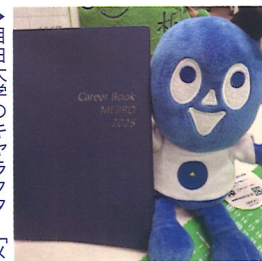
必要なのだ。

トの運営や、外部会場での合同説明会などを開催している就活支援企業というものもあるが、キャリアセンターは学校内で就職ガイダンスを行ってることがミソなのである。学校内で行うことにより、同じ学部同じ学科の生徒がどのような

目白大学のキャラクター「メジロー」とキャリアブック（写真…石塚）

A photograph showing a blue penguin mascot with large eyes and a white belly, standing next to a dark green book. The book has the title "Green Book" and some smaller text on its cover. The mascot is holding a small white object in its hand.

▲キャリアセンターの入口（写真：石塚）

[illegible]

▶目白大学のキャラクター「メジゾー」とキャリアブック（写真…石塚）

新聞 | 大学 | 目白

編輯長

黒木茉愛里

編輯部

青田夏希

石橋亮祐

加茂明日香

公決田美修

永田怜那

真壁啓

宮田ひかる

記事寄稿

石塚千晶

佐久間萌音

櫻井雄成

「MEen」

メディア学部 三上ゼミ 3 年生が
2023 年度秋学期に制作したフリー
ペーパー。前回の創刊号に続く 2 号
では「未来」をテーマに、様々な職
業の特集で構成。約 1 年間のゼミ活
動で得た知識や技術が詰まった一冊
となった。メディアと共に生きる未
来のために読んでいただきたい。

(編集長 3 年 佐久間萌音)



「THE DEEPEST」

メディア学部 三上ゼミ2年生が
2023 年度秋学期に制作したフリー
ペーパー。テーマは、ディープなコ
ンテンツ。あえて一貫性のないテ
ーマにすることで、ページをめくる
ごとに新たな知見を得られるフリー
ペーパーとなった。大学内で見かけ
たらぜひ手にとって欲しい。

(編集長 2 年 宮本耕輔)

